



点字体験



ちびっ子ガイド



おもちゃ交換ひろば



ミュージックベルの演奏



おんがくこうじょう。



パソコンでカレンダー作成



フラメンコダンス



活動展示など

2月1日、市内の市民活動団体が集まり日頃の活動内容を紹介する「市民活動カフェ2015」が、市民会館で開催されました。

まちづくりや環境・福祉関係など計42の団体が一堂に会し、「はじめる力」「つなげる力」「つづける力」が『ボランティアの底力』をテーマに、展示や実演体験コーナーが設けられました。来場者は気に入ったコーナーを巡り、作品作りなどの体験で楽しい時間を過ごしました。

市民活動カフェ2015

自宅から使わなくなったおもちゃを持ち込み、会場のおもちゃと交換する「おもちゃの交換ひろば」や、ペットボトルのエコキャップを使った鞍掛城まつりマスケットキャラクター「鞍隆くん」作りは、親子連れなどでにぎわいました。

また大ホールで行われた岩国小学校児童による「ちびっ子ガイド」の活動発表や、活動団体の協働事例発表に、来場者は熱心に耳を傾けていました。

岡市民協働推進課 ☎5015

市政 PICK-UP

地域活動のきっかけに



▲エコキャップアート

一人ひとりができることは



▲活動状況や意義などが紹介されたシンポジウム



▲社会的孤立が増えるなどの実態報告があった基調講演

地域包括ケアフォーラム in 岩国

1月25日、市民会館で「住み慣れた地域で暮らしていくために、一人ひとりができることは」をテーマとした「地域包括ケアフォーラム in 岩国」が行われました。

基調講演では、金城学院大学の朝倉美江教授が「介護保険サービス(共助)、ボランティア活動(互助)、個々の取り組み(自助)、自治体(公助)を組み合わせ、みんなで支え合い、助け合うことが地域包括ケアシステム」と述べました。

引き続き行われた「各職種による『協働』の理念に基づく地域包括ケアシステムの構築」をテーマとしたシンポジウムでは、装束ボランティアの会の活動状況などが紹介され、同会代表の村岡恒信氏が「行動に移すことが大切。健康づくりや生涯学習、人脈づくりに結びつく活動を」と強調しました。

介護保険課 ☎2544



▲意気込みを述べる福田市長(中央)

観光客誘致に向けて

首都圏からの観光客誘致を目的に、1月22日、岩国錦帯橋空港から岩国市観光宣伝隊22人が東京へ向けて出発しました。

空港ロビーで開催された出発式では、観光宣伝隊の顧問を務める福田良彦市長が「空港は開港から3年目に入り、利用者は堅調に推移している。東京では、空港の利用促進と観光誘客に向け、市の魅力をしつかり宣伝してまいりたい」と述べました。

観光宣伝隊の派遣は1979

岩国市観光宣伝隊出発式

年から毎年行われており、首都圏への派遣は2回目で、観光誘致や企業訪問などのトップセールスを22日から3日間の日程で行いました。

23〜24日には、東京・日本橋の商業施設で観光展を行い、錦帯橋やシロヘビ、岩国寿司を紹介するパネルや模型の設置、岩国の特産品が当たる抽選会を行うなど、多くの来場者に岩国への訪問を呼び掛けました。

観光振興課 ☎5116



▲多くの人が訪れた抽選会